

ニュースクリップ & 映像教材

- 「ITを活用した生涯学習事業プランニング講座」受講者募集
- 「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」実施報告
- Eスクエア・アドバンス「先進IT活用教育シンポジウムin岡山」開催
- 「情報教育対応教員研修全国セミナー—教師のためのIT活用セミナー—」開催

協会情報

■「ITを活用した生涯学習事業プランニング講座」受講者募集

(財)日本視聴覚教育協会では、平成16年度文部科学省助成事業として標記講座を実施する。この講座は、地域の社会教育関係者を対象に、生涯学習センターや公民館で展開されるITを活用した生涯学習事業を実施するために、これまでに展開された実践事例を参考に、また、実際に受講者が学ぶITの手法を体験しながら、プランニングができるようになる講座である。

〈内容〉

○インターネット講座

ITを活用した生涯学習事業について総論を学習する。情報化時代における社会教育施設の役割や、ITを活用した生涯学習事業の事例、今後の展望、また特

に注意が必要になってきている著作権問題について、わが国を代表する研究者が動画や資料をまじえて解説する。さらに、ITを活用した生涯学習事業のケーススタディーとして、eポートフォリオ(PushCorn)を体験する。講師：山本恒夫氏(八洲学園大学教授・筑波大学名誉教授)／浅井経子氏(八洲学園大学教授)／坂井知志氏(常磐大学・大学院教授)／前川道博氏(東北芸術工科大学講師)

期間：平成16年11月～平成17年2月

サイト：富山インターネット市民塾

○ワークショップ

インターネット講座で学習したことについて、事例研究と協議で深め、実習ではポートフォリオ支援ツールを使って、課題に取り組む。最後には課題発表を通して、「自らの地域でIT

を活用した学習プログラム」を考えてみる。

期間：平成17年3月10日(木)～11日(金)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1

〈受講対象〉

教育委員会職員、公民館職員、社会教育(生涯学習)センター職員、学校教職員、教育センター職員、視聴覚センター・ライブラリー職員等(*インターネットメールができる方で、かつインターネット講座、ワークショップ2日間ともに参加できる方)

〈定員〉

40名(定員になり次第、締め切り)

〈締切日〉

平成16年10月15日(金)

〈参加費〉

8,000円(資料・教材費)

〈申し込み先・問い合わせ先〉

資料紹介



エル・ネット活用事例集 「見る・録る・学べる エル・ネット」

文部科学省 A4判 73頁 非売品

エル・ネット（教育情報衛星通信ネットワーク）を効果的に活用していくためには、番組を公民館等で視聴できるようにするだけでなく、各地域や受信施設において、番組関連情報についての広報周知を図ったり、自らの主催事業の中に取り込むこと等により、地域の特色ある事業として展開していくことが有効である。

本事例集では、「子ども放送局」を活用したものづくり教室や、「オープンカレッジ」を活用した公民館カレッジなど、受信局で事業として活用した事例、および地域の教育情報を効果的に全国に発信しているVSAT局（送受信局）の事例などを幅広く紹介している。特に、それぞれの事例の中で、「ビデオ貸出に関する事務取扱要領」や「番組活

用マニュアル」、「実施要綱」、「案内ちらし」などの具体的な資料を数多く掲載している。受信局で、番組を活用した事業を実施する際の参考となるほか、すべての社会教育施設において、子どもや中高年などを対象とした主催事業を開催する場合のヒントが数多く収められている。

〈内容〉

- エル・ネット活用の工夫
- 番組の活用の工夫
 - ・子ども放送局の活用
 - ・オープンカレッジの活用
- VSAT局からの情報発信

■事例集の入手を希望される場合は、文部科学省生涯学習政策局参事官付学習情報政策担当（TEL 03-5253-4111）エル・ネット担当（elnet@mext.go.jp）までご連絡ください。

（財）日本視聴覚教育協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門
1-17-1 視聴覚ビル
TEL03-3591-2186
URL <http://www.javea.or.jp>

AV情報

■「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」実施報告

このたび、（独）国立オリンピック記念青少年総合センターでは、「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」を実施し、報告書をまとめ発表した。

この調査は、平成15年9月と16年1月に、全国の小・中・高校生やその保護者約6万人を対象に、青少年の自然体験活動の実態や参加意識等、全国的な動向について、その基礎資料を得ることを目的に行われた。

調査内容としては、さまざまな自然体験活動の実施状況のほか、その他の体験活動への参加

意識、日常生活の様子や自己に対する意識などについてである。

さらに、この報告書では、自然体験活動の実施状況と他の質問項目とのクロス集計を行い、自然体験活動の豊かな子どもは、①課題解決能力や豊かな人間性など生きる力のある子ども、②環境問題やボランティア活動に関心の深い子ども、③得意な教科が多い子ども、などといった傾向が見られたと報告している。また、自然体験活動の豊かな子どもの保護者は、自らの自然体験も豊富で、かつさまざまな活動に前向きであるとしている。なお、この報告書は、同センターHPに全文が掲載されている。〈問い合わせ先〉（独）国立オリンピック記念青少年総合センター 事業課調査研究係

TEL 03-3467-7201

URL <http://www.nyc.go.jp/youth/>

15taikentop.html

研究会情報

■Eスクエア・アドバンス「先進IT活用教育シンポジウム in岡山」開催

（財）コンピュータ教育開発センターでは、「明日からの授業に活かすIT」をテーマに、標記シンポジウムを開催する。

〈開催日時〉

平成16年10月22日（金）

10：00～16：30

〈開催場所〉

岡山コンベンションホール ママカリフォーラム3F

〈内容〉

○基調講演

テーマ：「先進IT活用で教育の何が変わるのか？」（仮題）永野和男氏（聖心女子大学教授）

○分科会

A.〈コンソーシアム形式のプロ

ブックレビュー



「ひとりから始めるアニメの作り方」

おかだえみこ・文 鈴木伸一・絵
 洋泉社 2004年9月刊 A5変型判
 192頁 1,575円

「アニメーションを作ってみよう」と、業界を志す若者は後を絶たない。その動機は、テレビや映画の「セルアニメ」への憧れが圧倒的だ。専門学校も2D・3D動画員養成が教育課程の主旨で、セルアニメのスタジオ就職が目標。技巧書もこの傾向が主流だ。しかし、本来アニメーションには多種多様な様式があり、セルは一部に過ぎない。個人作家や、素人作家も存在する。一旦憧れから離れて、「無生物が動く」原初的な楽しさと高い理想を抱いて再度スタートラインに立ってほしいものだ。

本書は、アニメーションの歴史や表現の可能性を一から学べる待望の入門書だ。文章のおかだえみこ氏は、世界の作品・作家・技法を熟知した研究の大家。解説付イラストの鈴木伸一氏は、

伝説の「トキワ荘」出身で、技巧に長けたベテラン・アニメーター。2人の語りはユーモアと風刺を織り交ぜ、明瞭簡潔に進む。アニメーション史から、人形・粘土・立体など各技法の紹介と技術的実践、物語作成と演出、創意工夫の精神まで、奥深い内容が語り尽くされる。

本書は、1978年から3年半「月刊アニメージュ」誌に連載され、単行本化された「僕らの実践アニメ塾」(絶版)の加筆・改稿版だ。おかだ氏は、かつて「アニメ塾」最終回で次のように記した。「単行本をボロボロになるまで使って欲しい」。これを実践した者の多くが、現在業界の中心で働いている。

本書もまた、あらゆる映像教育・制作現場に必携の一冊である。(叶 精二)

プロジェクト事例発表)心も育つ理科コンテンツの開発と活用/IT活用地域コーディネーター/教育用コンテンツ活用推進/ロボット活用の先進的情報教育 他
 B.〈学校の実践事例発表〉小・中・高等学校各2事例
 C.〈大学の発表〉4大学発表
 D.〈企業が支援したIT活用授業実践の発表〉6事例紹介
 ○パネルディスカッション
 「IT活用で確かな学力～情報化の役割～」
 〈申し込み先・問い合わせ先〉
 (財) コンピュータ教育開発センター
 〒108-0072 東京都港区白金1-27-6 白金高輪ステーションビル3F
 TEL 03-5423-5914
 URL <http://www.cec.or.jp/e2a/>
 ■「情報教育対応教員研修全国セミナー—教師のためのIT活用セミナー—」開催

(社)日本教育工学振興会では、コンピュータ教室の整備とともにインターネットに接続された校内ネットワーク、普通教室などへの教育用コンピュータの整備など、教育の情報化が進められている中、この新たな学びの環境を学力向上や校務運営にどのように役立て、情報モラル指導や情報セキュリティなどの課題に、教師としてどのように対応していけばよいのかを探る標記セミナーを、東京と大阪にて開催する。

〈日程・会場〉

○東京会場：平成16年11月20日(土)東京ファッションタウン(TFTビル)東館9F 904・905研修室)・東京都江東区有明町3-1
 ○大阪会場：平成16年11月23日(火)園田学園女子大学情報教育センター3F大会議室・兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

〈内容〉

○基調講演

テーマ：「教育の情報化と校内ネットワーク活用～現状と課題～」
 講師：東京会場 森本浩一氏(文部科学省生涯学習政策局参事官)、大阪会場 中川健朗氏(文部科学省初等中等教育局参事官)

○ディスカッション

テーマ：「校内ネットワークを生かす工夫と便利で安全な運用管理」
 コーディネータ：堀田龍也氏(静岡大学助教授)

〈対象〉

学校の教職員、教育委員会の職員

〈定員〉

各会場とも100名程度(定員になり次第、締め切り)

〈申し込み先・問い合わせ先〉
 (社)日本教育工学振興会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル
 TEL 03-5251-0751

URL <http://www.japet.or.jp/>